PROFILE



高橋　修　たかはし おさむ

昭和45年2月9日生まれ（52歳）

●役職：文教福祉常任委員会副委員長
議会改革推進会議委員
花巻市民生委員推薦会委員

●略歴：日本商工会議所青年部岩手県代表理事
花巻商工会議所青年部第27代会長

●現在：岩手県市町村議員連絡協議会副会長
いわて若手議員の会事務局長
自由民主党岩手県支部連合会広報副委員長兼
青年局常任幹事
株式会社松屋敷代表取締役
2014年から花巻市議会議員（現在2期目）

●資格：産後ケアリスト、日本思春期学会性教育認定講師
防災士、測量士補

●最終学歴：岩手県立大学大学院総合政策研究科　修士課程修了

●現在の目標：東日本大震災以降、行方不明者の遺族と接する度に、人命救助の重要性と「行方不明者を減らしたい」という思いが強まり、年齢制限をクリアーするため昨年11月に国家資格を取得、「専門技術者」として本年4月に「予備自衛官」を受験、採用人数は東北6県で20名。

※災害現場で働く予備自衛官は、地方議員でも兼任可能です。







趣味は登山です。

高橋おさむ後援会

右のQRコードから高橋修の市政報告書「おさむ通信」をご覧いただけます➡

TikTok 高橋おさむ　Twitter 高橋おさむ　Instagram 高橋修　facebook 高橋修

●高橋おさむ土沢地区後援会　〒028-0114 花巻市東和町土沢8区438 Tel:0198-42-2734

●高橋おさむ小山田地区後援会　〒028-0106 花巻市東和町外谷地2区10 Tel:0198-42-2687

掲示責任者 菊池睦夫 岩手県花巻市東和町石鳩岡7区102　印刷者 活版ディーアイ株式会社 岩手県花巻市卸町61番地



情熱と行動力

たかはし 高橋おさむ

TAKAHASHI OSAMU



流れる水はくさらない。

「情熱」と「行動力」で住みよいまちづくりを目指します。



農　業

中山間地域における財政支援や、農業世帯数が減る中、ほ場整備が入らない地区における遊休農地の利活用と存続有無について、国や県、農業委員会と協議を重ねてまいります。

子育て支援

本市は核家族化が進んでいます。産前・産後のママさん達が自宅で孤立しないよう、引き続き産前・産後ケアの充実と、県内ではいまだ未設置となっている宿泊機能を兼ね備えた24時間体制の「産後ケアセンター」の設置実現にむけて取り組んでまいります。

お産環境の整備

周産期医療の更なる充実強化を図るため、岩手県立中部病院への「新生児特定集中治療室（NICU）」の設置実現にむけて取り組んでまいります。



商　業

企業誘致も大切ですが、雇用創出・利益確保を最も優先させるべきは地場企業です。利益が削がれ、既得が奪われる事は回避せねばなりません。そもそも「市民が望む企業」は、産業分野だけではないはずです。外食産業やアパレル産業、娯楽施設もその1つ。これらの企業も産業と同じように雇用を生み、本市に新たな賑わいと税収を生み出してくれるはずです。若者世代・子育て世帯が興味を引く、「他市に流れない街づくり」のあり方について、引き続き取り組んでまいります。

防　災

本市は東京23区よりも広い面積を誇っていますが、その内の約66%は森林です。地震・土砂災害によって道路が寸断されれば、消防力を投入できません。面積が広い自治体ほど「自主防災力の強化」が求められます。防災士と連携した更なる防災力の強化について、引き続き取り組んでまいります。



観　光

毎年同じ観光情報の発信では、新規観光客の増加は期待できません。特に箱物施設を「再び訪れる方」は少ないはずです。観光素材は、「見せ方」によって大きくその表情を変えます。SNSを使った観光発信は、専属の担当職員を配置してでも実施すべきです。新たな観光素材の発掘とアプローチ手法について、引き続き取り組んでまいります。

東和町出身の高橋おさむと申します。私がこれからも取り組んでいきたい課題は、これまでの８年間で進捗を得た部分もあれば、国や法律の壁に行く手を阻まれ、限界を感じた部分も複数あります。国が推し進めるルールを、花巻市議会で「独自ルール」に改正する事は出来ません。更に進捗を得るためには、予算措置も含め、国や県との連携、繋がりなくしては困難なものばかりです。仮に私がこのまま当選回数を重ねても、恐らく花巻市民の皆さんの付託には答えられません。これ以上進捗が得られない事を知りながら、ただ持論を展開するだけです。

しかし、糸口はあります。市議会だけ、市の財政だけで解決が困難なものは、国や県と連携を図れば、必ずや突破口が見いだせるはずです。そのためには地方の声を国や県に届ける人脈作りと連携が必要不可欠です。票を失う事を恐れ、保身に走ってる場合ではありません。少なくともこれから生まれて来る子供たちにとって、住居表示は既に花巻市○○町です。合併前の花巻市、旧3町は過去の話し。1つの故郷にしか写らないはずです。地域課題は市議の立場で解決策を図る事は可能です。

しかし、市政課題は性質が違います。医療・教育・福祉・農業等の課題は、地域を超えた幅広い問題意識と、皆様方の声、後押しが必要です。私はこれからも地域のため、故郷のため、「花巻市民のため」に、引き続き市民の皆さんの付託に答えていきたいと考えております。

今後とも変わらぬご支援とご声援を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。